

部門	公所名	業務名	受注者名	頁
測量	東青	大泊海岸海岸維持測量業務委託	(株)測地コンサルシステム	
	東青	国道280号交付金（道路改築）用地測量業務委託	(株)ニッソク	
	西北	土砂災害防止法に基づく基礎調査（砂防基盤図整備）業務委託	(株)青秋	2
	上北	国道394号交通安全施設整備用地測量・調査業務委託	(株)出雲	
土木 (県内)	東青	国道280号橋梁架替（蟹田橋）予備設計業務委託	(株)キタコン	
	東青	国道280号新長川橋外橋梁定期点検業務委託	(株)コンテック東日本	
	中南	前坂藤崎線橋梁架替（藤崎橋）測量・修正設計業務委託	(株)キタコン	3
	中南	五所川原黒石線外橋梁補修（万年橋外）測量・設計業務委託	(株)増川プロジェクト技建	4
	三八	榊海岸沖合施設設計業務委託	エイコウコンサルタンツ(株)	
	三八	八戸港維持八太郎大橋外橋梁一般定期点検業務委託	エイト技術(株)	
	西北	国道339号橋梁架替(新長富橋)修正設計業務委託	(株)キタコン	
	西北	津梅川4号堰堤外砂防維持測量設計業務委託	東信技術(株)	
	上北	国道394号交通安全施設整備（八幡橋）橋梁詳細設計業務委託	エイト技術(株)	
	上北	国道279号外橋梁定期点検業務委託	南部シビルコンサルタンツ(株)	
	下北	国道279号外橋梁アセットマネジメント定期点検業務委託	(株)みちのく計画	
	下北	国道338号道路災害防除設計業務委託	(株)コンテック東日本	
土木 (県外)	東青	青森港油川地区ふ頭用地造成設計業務委託	パシフィックコンサルタンツ(株)	5
	東青	鶴ヶ坂千刈線交通安全施設整備（電線共同溝）埋設物調査解析業務委託	ジオ・サーチ(株)	
	中南	小国沢第4号大規模特定通常砂防設計業務委託	砂防エンジニアリング(株)	
	中南	土淵川放水路補修設計業務委託	日本工営(株)	
	三八	橋向五戸線（轟木橋）予備設計業務21__委託	パシフィックコンサルタンツ(株)	
	上北	国道279号道路改良道路環境調査業務委託	いであ(株)	
	上北	高瀬川圏域総合流域防災砂防（無流水溪流対策）設計業務委託	(株)建設技術研究所	
	下北	国道279号道路改良（奥内バイパス）設計業務委託	セントラルコンサルタント(株)	
	下北	小川放水路長寿命化計画策定業務委託	(株)オリエンタルコンサルタンツ	
	道路課	国道279号（風間浦バイパス）道路概略設計業務委託	大日本ダイヤコンサルタント(株)	
	河川砂防	中村川流域治水対策検討業務委託	日本工営(株)	6
地質 調査	東青	青森浪岡線外チェーン脱着場地質調査業務委託	(株)開発技研	
	上北	泊陸奥横浜停車場線道路改良地質調査業務委託	(株)キタコン	
	下北	むつ尻屋崎線橋梁架替（野牛橋）地質調査業務委託	開成技術(株)	7
補償	東青	3・4・2号西滝新城線道路改築用地測量・調査(新城2の2)業務委託	(株)大成コンサル	
	上北	三沢七戸線道路改良用地調査（意向調査）業務委託	(株)青秋	
	下北	国道338号道路改良事業認定資料作成業務委託	エイト技術(株)	8

県土整備部長表彰

（無着色）公所の長表彰

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

県土整備部長表彰

業務の概要

業務名	土砂災害防止法に基づく基礎調査（砂防基盤図整備）業務委託		
受注者名	株式会社青秋		
業務箇所	五所川原市大字前田野目外地内	委託料	26,004,000円
履行期間	令和6年3月28日～令和7年3月21日	成績評定点	84点
完成年月日	令和7年3月18日	推薦公所	青森県西北県土整備事務所
管理技術者	木村 和則	総括調査員	高田 浩行
業務概要	砂防基盤図整備 1/2500 38.5 k m2	主任調査員	相坂 鉄治
		調査員	佐々木 杏

推薦理由

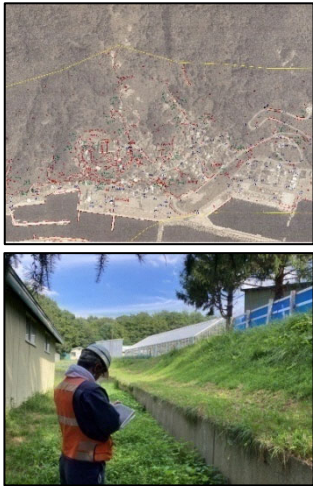
本業務は、青森県西北県土整備事務所管内において【土砂災害防止法に基づく基礎調査】及び【土砂災害警戒区域の指定】について、高精度な地形情報を用いて、新たに抽出された土砂災害警戒区域等の指定要件に該当する箇所及び周辺の砂防基盤図を整備するものである。

成果品について第三者機関による成果検定があり、他管内から発注された同種業務によって、検定期間に支障が出ないように、速やかな資料整理・現地調査の着手を行い、納品に遅延がないように工程管理を徹底させた。また、隣接する他管内の行政界接合において、重複する図郭をピックアップし、成果の確認及び整合を図った。

以上、「その他、他の模範となると認められるもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等

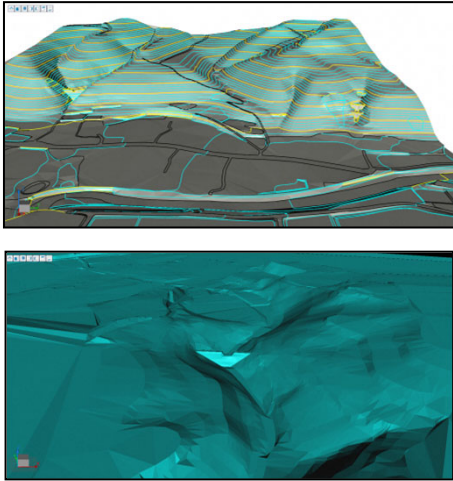
航空写真を使用した現地調査作業



三次元数値図化システム



三次元数値図面



受賞コメント

この度は、県土整備部長表彰の栄誉を賜り感謝申し上げます。

受賞にあたり、ご指導いただきました調査職員や関係各位の皆様には心から御礼を申し上げます。

本業務は、青森県西北地区全域が調査対象となることから、工程管理と作業体制に重点を置いて、綿密に作業計画を立案致しました。また、民地への立ち入りに際しては細心の注意を払い、地権者の方には丁寧な説明を心掛けました。このような取り組みを評価して頂き、光栄に存じます。

今回の受賞を励みとして、更なる技術の研鑽と品質の向上に努め、安全・安心な地域社会の発展に貢献をできるように努めてまいります。

今後とも、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役
平 哲郎



管理技術者
木村 和則

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

県土整備部長表彰

業務の概要

業務名	前坂藤崎線橋梁架替(藤崎橋)測量・修正設計業務委託		
受注者名	株式会社キタコン		
業務箇所	南津軽郡藤崎町大字藤崎地内	委託料	17,149,000円
履行期間	令和5年12月7日～令和6年12月25日	成績評定点	88点
完成年月日	令和6年12月25日	推薦公所	青森県中南県土整備事務所
管理技術者	岩崎 隆	総括調査員	根川 徹
業務概要	施工計画修正 N=1式 架設計画 N=1式 関係機関打合せ協議 N=1式	主任調査員	藤田 智史
		調査員	對馬 卓也

推薦理由

本業務は、前坂藤崎線に架橋されている「藤崎橋」の橋梁架替工事において、P2橋脚施工時(令和5年度)に発生した仮締切堤崩落(大型土のう7段積)により工事が一時中止となったため、施工計画の修正、関係機関(東北地方整備局・青森河川国道事務所・東北農政局)との協議を行い、工事再開を可能としたものである。

設計では、現地状況や設計資料から崩落原因を検証し(図-1)、自立式鋼矢板による締切計画を提案することで、施工性と構造安全性向上に配慮した施工計画を立案している(図-2)。また、高水時の水位をハイドログラフで整理し、その水位上昇量から使用する重機の退避水位を決定するなど綿密な退避計画の提案をしている(図-3)。さらに、関係機関との協議資料や許可申請書の作成を迅速に対応、了解を得たことで、令和6年度内の工事再開と工事完了を達成した(図-4)。なお、計画・設計段階で社内の専門家と意見を交えた設計審査を重ね品質向上に努めていたことや発注者からの指示、要望事項に対しても真摯に対応していた。よって、本業務は「委託業務成績評定点が特に優れているもの」「他の模範となると認められるもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等

○仮設橋土留置後(拡大図)

図-1 崩落原因の検証

当初設計時

修正設計

図-2 仮締切計画の修正

図-3 ハイドログラフを用いた退避計画

図-4 河川管理者からの許諾と工事再開写真

受賞コメント

このたびは、「青森県県土整備部長表彰」の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。ご指導を賜りました中南県土整備事務所の調査職員並びに関係職員の皆様にご心より感謝申し上げます。

本業務は、仮締切の崩落により工事が一時中止となっていた藤崎橋架替工事において仮設計画の見直しを行い、関係機関との協議を迅速に対応したことで、工事再開及び工事完了を達成した業務です。

本日の表彰を糧に、今後も技術力・品質向上に努め「安全安心で活力ある地域社会づくり」の一助となれるように今後も努力して参ります。

引き続きのご指導ご鞭撻を賜ります様宜しくお願い申し上げます。



代表取締役 佐藤 和昭
管理技術者 岩崎 隆

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

県土整備部長表彰

業務の概要

業務名	五所川原黒石線外橋梁補修（万年橋外）測量・設計業務委託		
受注者名	株式会社増川プロジェクト技建		
業務箇所	黒石市大字境松外地内	委託料	10,153,000 円
履行期間	令和6年8月7日 ～ 令和7年3月21日	成績評定点	85 点
完成年月日	令和7年3月5日	推薦公所	青森県中南県土整備事務所
管理技術者	佐々木 元太	総括調査員	総括主幹 根川 徹
業務概要	基準点測量 N=1式、路線測量N=1式、一般構造物設計N=1式、橋梁設計N=1式	主任調査員	主 査 藤田 智史
		調査員	技 師 平澤 大輝

推薦理由

本業務は、五所川原黒石線に架橋されている「万年橋」を含む全3橋について、架替を想定した一般構造物設計（予備）、一般構造物設計（詳細）及び橋梁補修設計を行ったものである。

本業務の特に優れた点は、設計案作成後に施工課程の3Dモデルを作成したところである。このことにより、関係機関協議において相手方の施工内容への理解度が向上し、スムーズに事業に対する合意形成を得ることができた。この取り組みは、関係機関協議のみならず、今後の工事受注者など設計成果を確認するすべての人員に効果を発揮するものと考えられる。

以上、「委託業務成績評定点が特に優れているもの」「その他、他の模範となると認められるもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等

一次施工（道路左側）

二次施工（道路右側）

橋梁工

敷設板設置

側溝取壊し

水路敷の掘削、保固

上水道管工設置

上水道支持金具取外し

As舗装切替・敷設

床版、地盤、下脚工取壊し

掘削工、カルバート工

上水道支持金具設置

上水道管工敷設

排水構造物工

路床盛土、幅員

下層筋盤、上層筋盤

表層工（t=10cm）

敷設板・仮設防護柵撤去

表層工（t=10cm）

左側防護柵設置

後片付け

複雑な施工ステップを可視化した3Dモデルパース図を作成し、イメージの共有を図り、受発注者間や関係機関との打合せにて迅速な合意形成を促進した。

一次施工（道路左側施工時）

施工ステップパース図（1/2）

STEP-1：敷設板設置、側溝取壊し、上水道管工設置

STEP-2：上水道支持金具取外し、舗装撤去、仮設橋梁取壊し、掘削

STEP-3：掘削工（仮設設置・コンクリート打設）

STEP-4：カルバート工

受賞コメント

この度は、「青森県県土整備部優良建設関連業務表彰」という名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。今回の受賞は、日頃より格別のご指導を賜っております中南県土整備事務所の調査職員の皆様、並びに関係職員の皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

今回表彰の対象となりました業務は、老朽化した橋梁の架け替え・補修に伴う設計です。私たちはこの業務において、3Dモデルによる施工状況の可視化を積極的に活用しました。これにより、発注者様や関係機関との迅速な合意形成に貢献できた点が、高く評価されたものと考えております。弊社は、長年培ってきた現場技術力を礎として、常に現場に最適な設計を提供することを追求してまいりました。今回の受賞を機に、これまでの経験を活かし、さらに技術に磨きをかけていく所存です。社員一同、地域社会の発展にこれまで以上に貢献できるよう、邁進してまいります。

今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



代表取締役
福土 智美



管理技術者
佐々木 元太

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

県土整備部長表彰

業務の概要

業務名	青森港油川地区ふ頭用地造成設計業務委託		
受注者名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
業務箇所	青森市大字油川地内	委託料	51,810,000円
履行期間	令和6年2月10日～令和7年3月25日	成績評定点	85点
完成年月日	令和7年3月24日	推薦公所	青森県東青森県土整備事務所 青森港管理所
管理技術者	砂川 透吾	総括調査員	沼田 貴之
業務概要	予備・基本設計 N=1式 細部設計 N=1式 実施設計 N=1式 環境影響予測 N=1式	主任調査員	小野 健二
		調査員	阿部 柊人

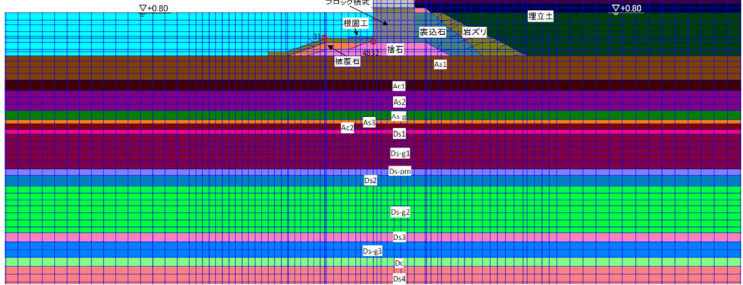
推薦理由

本業務は、青森港油川地区の船溜まりを埋め立て、新たにふ頭用地を造成するための設計（予備～実施）を行う業務である。油川地区は、洋上風力発電事業における建設拠点（基地港湾）であり、令和7～9年度の3年間で完成させる条件のもとで設計を実施している。設計条件の設定にあたり、土質調査結果を基に一次元地震応答解析による液状化判定を行った結果、液状化ありと判断されたが、2次元地震応答解析の提案を受け実施したところ、設計護岸に対する変位の影響が小さいことを確認でき、地盤改良を行う必要がなくなったため、整備コスト・施工期間の削減を図ることができた。また、プレキャスト化導入による工期短縮の検討、供用時の載荷荷重による護岸の安定性の検討を行い、事業者の供用を見据えた設計成果のとりまとめも実施した。

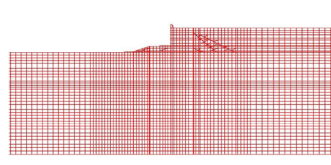
以上、「難易度が高い業務に対し優れた技術力を発揮したもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等

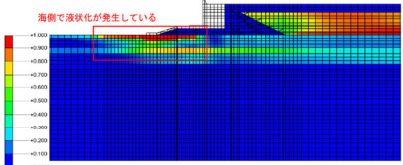
・FLIPモデル図



・FLIP解析結果（変形図）



・FLIP解析結果（過剰間隙水圧比）



レベル1地震時の2次元地震応答解析（FLIP）解析結果図

・変位量の検討結果

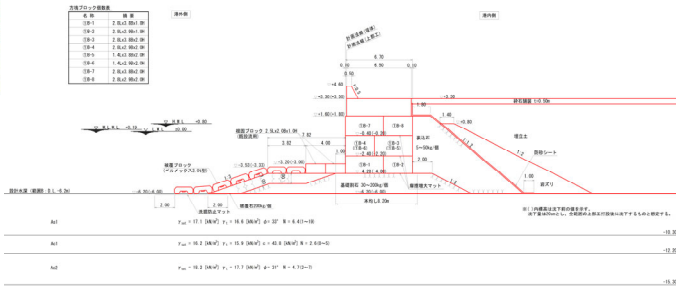
位置	Node No.	変位変位 (mm)	最大変位 (mm)	最大加速度 (m/sec ²)
護岸天端	86	-0.084	-0.014	-0.015
アークアーク天端	4832	-0.072	-0.014	-0.015
護岸天端	88	-0.083	-0.011	-0.015
護岸アーク天端	88	-0.079	-0.009	-0.009

岸壁天端変位量 8.4cm ≤ 許容値 10.0cm → OK
岸壁天端傾斜角 0.05°
岸壁と背後地盤との差 0.8cm

液状化対策としての地盤改良を施さなくとも、護岸堤体の変位量は変動状態の許容値である10cmを下回る。
→性能規定を満足する。

※変動状態（レベル1地震時）の許容変位量10cmは、重力式の照査用算定値に用いる許容変位量10cmに準じて設定。

位置	変位
護岸天端	8.4cm
アークアーク天端	7.2cm
護岸天端	8.3cm
護岸アーク天端	7.9cm



本設計護岸 標準断面図

受賞コメント

この度は、栄えある「県土整備部優良建設関連業務表彰」を賜り、誠に光栄に存じます。業務を遂行するにあたり、ご指導を賜りました東青森県土整備事務所 青森港管理所の調査職員並びに関係職員の皆様に心より感謝申し上げます。

青森県における洋上風力事業の建設拠点となる油川ふ頭用地設計に携わることができ、その成果に評価をいただきましたこと、大変うれしく思います。今後も青森県をはじめ、地域社会の発展並びに安全・安心な暮らしの実現に向けて、より一層尽力してまいります。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



上席執行役員
東北支社長
伊藤 弘明



管理技術者
砂川 透吾

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

県土整備部長表彰

業務の概要

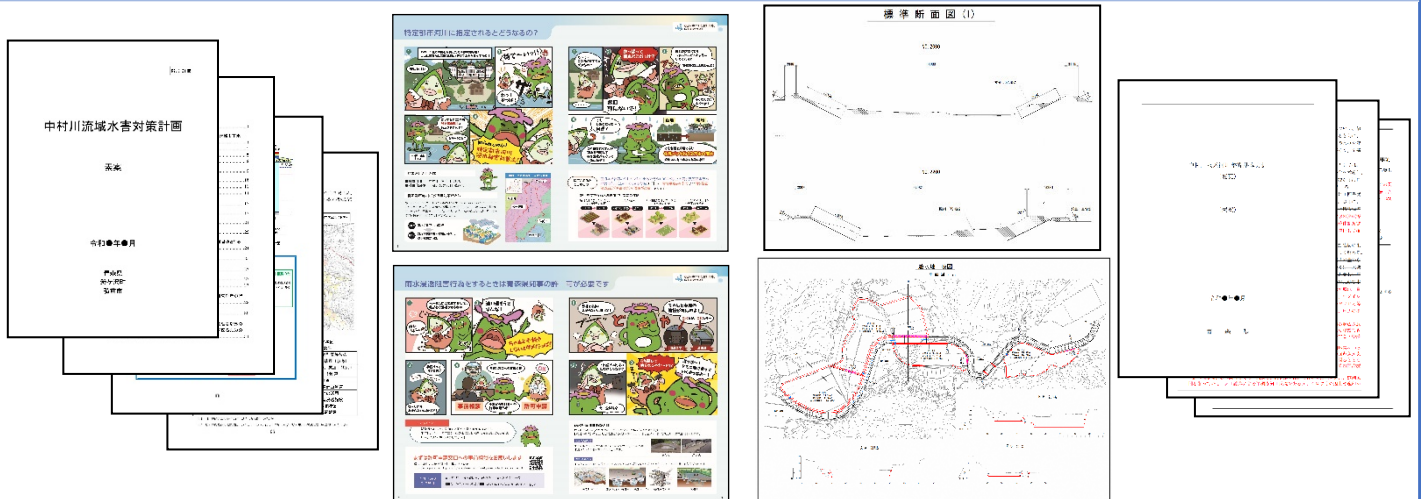
業務名	中村川流域治水対策検討業務委託		
受注者名	日本工営株式会社		
業務箇所	青森県西津軽郡鰺ヶ沢町～青森県弘前市常盤野地内	委託料	44,880,000円
履行期間	令和6年5月15日～令和7年3月25日	成績評定点	87点
完成年月日	令和7年3月25日	推薦公所	県土整備部 河川砂防課
管理技術者	舟越 善隆	総括調査員	外川 幸久
業務概要	流域治水対策検討 N=1 式	主任調査員	泉 拓弘、高橋 奈穂子
		調査員	山上 諭、成田 朝登

推薦理由

本業務は、鰺ヶ沢町の中村川を対象に特定都市河川への指定、流域水害対策計画の策定及び雨水浸透阻害行為の整理および、河川整備基本方針の更新に向けた洪水調節施設の位置づけ（治水計画）検討を行った。

流域水害対策計画の策定に向けた検討では、内外水一体型氾濫解析モデルで都市浸水想定を作成、田んぼダム等の流出抑制対策による低減効果を把握し、流域水害対策計画案を作成した。河川整備基本方針及び洪水調節施設の検討では、洪水調節施設の配置検討、概算事業費の算出、最適治水対策案を選定し、河川整備基本方針案などを作成した。本業務では、迅速な対応かつ品質確保のため、各分野に精通した技術者を多く配置し、発注者との円滑な連携により県内初となる特定都市河川への指定、県内河川で10数年ぶりに河川整備基本方針を策定することができた。以上、「難易度が高い業務に対し優れた技術力を発揮したもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等



流域水害対策計画（素案）および広報資料

治水対策案および河川整備基本方針変更案

受賞コメント

この度は、青森県県土整備部優良建設関連業務表彰県土整備部長表彰を賜り誠にありがとうございます。ご指導を頂きました県土整備部河川砂防課の調査職員の皆様並びに関係各位に心から感謝と御礼を申し上げます。

中村川では令和6年7月に特定都市河川の指定に指定され、流域関係者一体となつての水害対策が進められています。本業務は特定都市河川の取り組みを推進していくための流域水害対策計画の素案検討、周知に向けたパンフレット等の作成を行いました。また、気候変動の影響を踏まえた河川整備基本方針の更新に向け、総合的な浸水被害対策の具体化に向けた検討を行った県内でも先行的な取組み事例となる業務です。

今回の受賞を励みとし、より一層の技術研鑽に努め、安全・安心で豊かな社会を形成する社会資本の整備に貢献できるよう尽力していく所存です。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



青森事務所長
井上 宏



管理技術者
舟越 善隆

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

県土整備部長表彰

業務の概要

業務名	むつ尻屋崎線橋梁架替(野牛橋)地質調査業務委託		
受注者名	開成技術株式会社		
業務箇所	青森県下北郡東通村大字野牛 地内	委託料	5,489,000円
履行期間	令和6年5月16日～令和6年8月30日	成績評定点	85点
完成年月日	令和6年8月27日	推薦公所	青森県下北県土整備事務所
管理技術者	太田 隆範	総括調査員	下川原 茂樹
業務概要	機械ボーリング N=2孔(33m) サンプリング、室内土質試験	主任調査員	松井 一裕
		調査員	櫻庭 良亮

推薦理由

本業務は、むつ尻屋崎線『野牛橋』の橋梁架替を実施するための設計・施工の基礎資料を得ることを目的とし、機械ボーリング・標準貫入試験・サンプリング及び室内土質試験を実施したものである。
準備・計画の段階から調査員と連絡を密に取り合い、搬入・仮設・掘進・各種試験と円滑に業務を遂行した。
特に、機械ボーリング時に確認された地下水位形態及び変動状況についてとりまとめた際に、各調査試験結果から総合解析として地盤定数の提案を行い、盛土工及び橋梁基礎工に対して考察した内容が高い評価を得た。
以上、「委託業務成績評定が特に優れているもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等

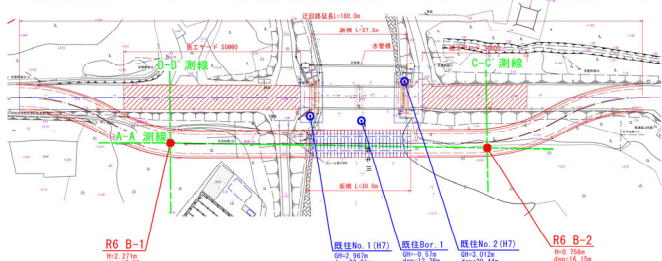
現場周辺写真



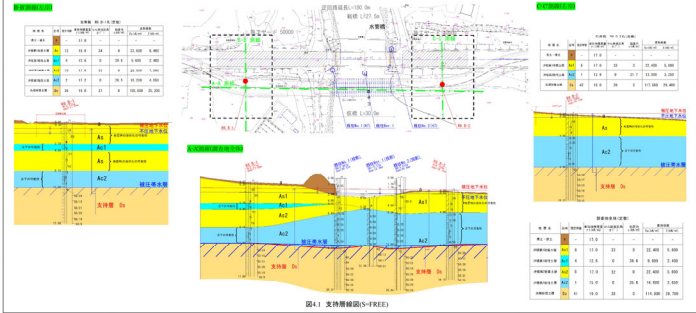
橋梁基礎の支持層及び基礎形式

4-3 設計・施工上の留意点

- 調査時に河川敷下流側は、竜巻川水位と同等レベルである。
- 橋梁部は75m～80m程度に分布する砂質土層(Az)は河川敷下流側を越え、その範囲は河川敷下流より約67～68m程度あり、
- 従って、地下水対策や施工時の掘削高等に留意する必要がある。
- 橋梁部は55m～207m区間に分布するAz、Az2層は、地質時の調査結果に基づいて検討が必要である。
- Az1層、Az2層は軟弱な粘土であり、沈下や安定に問題が発生する可能性があるため、詳細な検討が必要である。盛土工時には、盛土材料の物理特性、突き固めの特性、力学特性を把握し、設計値以上を確保する必要があります。
- 右岸部の盛土部は、施工機械のトラフィックによる地盤の破壊が懸念されるため、周辺からの水の流入を防止し、盛土部の乾燥を促進しトラフィックによる地盤の破壊を防止する必要がある。



調査位置平面図



受賞コメント

この度は、県土整備部長表彰を賜り、誠にありがとうございます。
本業務は、担当調査員の積極的な協力と対応によりスムーズに各工種を遂行する事ができ、結果的に品質向上に務めることができたことを大変感謝申し上げます。
今回の受賞を機に、これからも発注者との連絡や報告、打合せを密に行い相互理解を深め更なる技術力と品質向上に務めるとともに、安全性や環境にも配慮し地域社会に貢献する企業であり続けることを目指し、日々精進して参ります。



代表取締役
佐々木 寛



管理技術者
太田 隆範

令和7年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

県土整備部長表彰

業務の概要

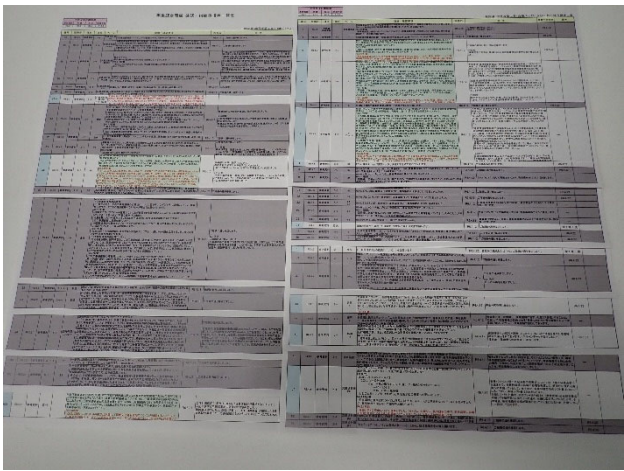
業務名	国道338号道路改良事業認定資料作成業務委託		
受注者名	エイト技術株式会社		
業務箇所	青森県下北郡東通村大字白糠地内	委託料	12,738,000円
履行期間	令和6年3月20日～令和7年3月7日	成績評定点	85点
完成年月日	令和7年3月7日	推薦公所	下北県土整備事務所
管理技術者	嶋本 勝	総括調査員	下川原 茂樹
業務概要	事業認定申請図書作成N=1.0式 生活環境調査N=1.0式 道路縦断調査N=1.0式	主任調査員	松井 一裕
		調査員	桜庭 良亮

推薦理由

本業務は、一般国道338号白糠バイパスにおいて「土地収用法」に基づく事業認定の申請をするために、過年度に事業認定庁に提出された事業認定相談用資料に対する指摘・確認事項に対応した説明資料を作成し、事業認定申請図書を取りまとめる業務である。事業認定庁から事業計画や環境影響評価等の多岐にわたる多数の指摘・確認事項に対して、起業者側と情報の共有や連携を密にとって、迅速且つ分かりやすく説明資料を作成すると共に、追加や変更のあった調査や計画に対しても迅速且つ柔軟に対応して業務を完成させた。

以上、「難易度が高い業務に対し優れた技術力を発揮したもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等



指摘・確認事項等一覧表



事業認定告示の官報

受賞コメント

この度は、県土整備部長表彰の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。ご指導を賜りました下北県土整備事務所の調査職員の皆様並びに関係職員の皆様に心より感謝申し上げます。

本業務は、様々な先例や技術基準を分析して取り組んだ業務です。今後も土地収用法に基づく事業認定申請業務に関する技術を磨き、県土整備事業の円滑な遂行に貢献できる様、尽力してまいります。

今回の受賞を励みに更なる技術力向上並びに品質向上に努め、地域社会の発展に貢献できるよう精進して参る所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役
佐藤 富一



管理技術者
嶋本 勝